

新「さつま町」への思いは



永福明治郎議員

永福明治郎議員 行財政運営の効率化と基盤強化に取り組み、住民が安心して生活できる町。三町で合併してよかったと思う、新「さつま町」をつくる必要があると思うのだが、町長の考えを問う。

北村町長 相互に合併の基本理念は理解し、今まで長い歴史のなかで培った多くの共通点と相互の信頼関係があるので、新町においては、速やかな一体性は確保できると思っ

ている。合併後においては、同じ町民として、自覚を共有し今まで以上に自主・自立を基本に、合併してよかったと言える方向にもつていく必要がある。新「さつま町」の町政推進の基本である総合振興計画においても、本町の思いや考え方、新町への期待感が大きいに、反映されるものと確信している。

町長選出馬の 意思は

永福議員 新町の町長選出馬の意思は。

町長 合併まで行うべき事務・事業等の調整作業など、新町に向けた三町の準備会のなかで協議を進めており、宮之城町としてしっかりと道筋をつ



産業廃棄物処理施設の建設予定地（山崎地区）

ゴルフ場建設 への希望は

永福議員 ゴルフ場建設の計画から、十六年が経過している。社会情勢等が厳しいなかで、現在も建設に希望をもっているのか。

町長 平成元年から、企業誘致としての位置付けをしてきている。現在の社会情勢や資金的な面等を考えると、厳しい状況にあると思われる。特別土地保有税や固定資産税の滞納もあり、現状や今後の取組み等について、近日中に会社から報告される予定である。

陳情書の 取り扱いは

永福議員 俣川路産業が、山崎の北薩小径木総合加工協同組合工場跡地内に計画している産業廃棄物処理施設の建設について、山崎区公民館長・荒瀬公民会長・北原公民会長の連名による反対陳情書が、平成十六年五月十九日に町長及び議長あてに提出されたが、どのような処置をしたのか。

町長 これは当初、入来町で企業誘致として進められていたが、地元の反対により、北薩小径木工場跡地に、計画を変更する動きがあったことによるものである。

平成十六年四月二十七日、設置予定業者の代表が事業内容説明に来られ、町としては、地域住民の意見を尊重する意向を伝えてある。